

## 令和6年度 御杖村社会福祉協議会 事業報告書

### 総 括

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体と規定されています。本協議会は地域福祉のため、「～みんな で 支えあい 助けあい 笑いあう～たくさんの幸せが憩うむら みつえ」を基本理念にかかげ、公的な福祉サービスの充実はもちろん、福祉分野にとどまらず、むらづくりの視点も加え、地域での共助づくりを進めてきました。

さて、社会経済活動の正常化が期待される中、30年ぶりとなる高水準の賃上げや、企業の高い投資意欲など経済活動の回復の兆しが見え始めました。その一方で、物価の高騰に賃金の上昇が追い付かず、実質賃金はマイナスが続いており、さらに少子高齢化を背景とした人手不足、収入の格差による生活課題、社会的孤独など、私たちの生活に直結する課題も多く残っています。

このような社会情勢のなか、当社会福祉協議会では、地域活動の再開へ向けた支援、新たな困窮者への支援等、従来と異なる状況から課題を捉え、地域住民をはじめ、関係機関・団体とともに、地域課題や生活課題の解決に向け取組を進めてきました。

昨年に引き続き、村から委託されている地域包括支援センターをはじめ、住民のニーズを的確に捉え、村・社会福祉施設・民生児童委員協議会・保健医療機関等との連携を密にし、本協議会が地域の福祉力を支える専門機関として、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を行い、地域福祉のより一層の充実と安定を図りました。

## 1. 職員の資質の向上

- 担当業務に必要な知識・技能を習得し、他組織との連携・協働を図る。

地域包括、介護予防関係

感染症ケアマネジメント研修会、地域連携研修会、難病の理解と支援

身寄りなし問題、自殺未遂者支援研修、新しい糖尿管理研修

障害者（児）関係

発達障害の理解と支援、相談支援従事者現任研修

権利擁護、日赤・共同募金関係

日常生活自立支援事業担当者連絡会、赤十字事務会議、その他社協関係

## 2. 福祉活動、福祉思想の普及

- 第46回御杖村社会福祉大会の開催
- 日本赤十字募金運動の実施（5月）募金額 280,000円（△2,600）
- 共同募金運動の実施（10月）募金額 196,296円（4,396）
- ボランティアグループによるふれあい喫茶の運営 毎月2回実施

## 3. 地域福祉活動の充実向上

- 在宅福祉サービス事業の推進

・地域福祉ネットワーク事業

ボランティア登録の推進（4団体64名登録）

地域サロン活動（元気にしとる会）の推進、支援

9地域で適宜実施（神末一中村、敷津（男性）・菅野一上郷中野

土屋原一堂前、大野、水口・峯・中村、桃俣一全域）

延べ参加者 461名（7名増）

- ・ふれあい交流会

移動型 ふれあい日帰りツアー（4回） 53名

集合型 脳トレーニング 15名

- ・生活支援事業

サポーター 17名 利用者17名

配食サービス（配送） 利用者 4名

- ・子供学習支援事業

子供が孤立することなく育まれる環境作り、子供の学力向上及び

子供やその家庭が抱える問題解決に向けた支援

対象者2人 19回実施

- 障害福祉サービス事業の推進

- ・障害者 17名 障害児相談支援 2名

#### 4. 介護保険事業等の実施

- 地域包括支援センター事業の運営

- ・相談受付業務 39件

- ・介護予防支援事業（要支援者の予防プラン作成）一委託含む

延べ463件（77件減）

- 居宅介護支援事業

- ・要介護者の介護プラン作成 延べ314件（127件減）

#### 5. 過疎地有償運送事業（デマンド交通）の運営

- ・利用者登録者数 178名（新規登録10名）

- ・利用実績 234日稼働 延べ1,237名が利用

## 6. 会務運営

### ○ 理事会の開催

- ・ 令和6年6月5日（令和5年度事業報告、決算の承認等）
- ・ 令和7年3月13日（令和7年度事業計画、予算の承認等）

### ○ 評議員会の開催

- ・ 令和6年6月26日（令和5年度事業報告、決算の承認等）
- ・ 令和7年3月24日（令和7年度事業計画、予算の承認等）

### ○ そ の 他

- ・ 民生児童委員協議会及び福祉関係団体との連絡調整
- ・ 村老人クラブ連合会運営に関する業務
- ・ 身体障害者福祉協議会及び母子寡婦福祉会の事務局
- ・ 高齢者文化教室（手芸、囲碁将棋教室等）運営に関する業務
- ・ シルバー人材センター運営に関する業務
- ・ 生活福祉資金貸付に関する業務
- ・ 善意銀行に関する業務